

事業所名 うさぎとクローバー

運営推進会議開催報告書

開催日時	平成 29年 4月 26日(水) 10時30分~11時15分	
参加者	議 題	
利用者	1名	うさぎとクローバーの運営状況の説明
利用者家族	0名	・会社概要について
地域住民の代表者	2名	・利用者状況について
市職員	1名	・年間行事、取り組みについて
地域包括支援センター職員	1名	・事故、ヒヤリハットについて
事業所	2名	・地域への取り組みについて
会 議 録		
資料に基づいて、ご説明をさせていただきました。(別紙資料 三枚)		
<p>うさぎとクローバーは「誰かのために」をテーマにして、手芸作品をつくることで手先を動かし認知症予防に取り組んでいます。作成した作品をプレゼントしたり、当社併設の学童保育の子ども達に手作りおやつを提供したりということで他者に貢献し、ご自身がまだまだやれるという自信をもって頂くことで、心身ともに元気を回復していく様子がみられます。また、内容としては介護予防にとりくんでおりますが、既存のデイサービスのイメージをあえて壊し、室内を喫茶店風にして楽しみに通える付加価値を演出しています。</p> <p>地域代表の方から・・・もっと宣伝をして多くの人を受け入れたらよいのにお助け隊としても独居高齢者の話しができる場所があると良いとつくづく感じている。とのご意見をいただきました。</p> <p>→現状は介護施設として一般の方の受け入れは難しい。</p> <p>現在申請準備中で、7月頃から緩和型として事業対象者も受け入れ予定であることをお話ししました。</p> <p>地域への取り組みとしては、バザーや西陵まつりへの出展などを通して、地域の方と顔なじみになることができました。今後も地域の皆さまに愛される場所として関わりをもっていける企画をしていきたいと考えています。</p>		

うさぎとクローバー 運営推進会議資料

平成 29 年 4 月 26 日

<企業理念>

- 私たちは、福祉サービスを通じて、人の心を豊かにします。
- 私たちは、地域の困り事を解決し、住み良い社会づくりに貢献します。
- 私たちは、変化に対応しつつ支え合い、学びながら成長し続けます。

<介護部門方針>

笑顔で気持ちよく利用者の横に座って傾聴し、利用者のニーズを把握し、必要なサービスを起こす。介護者やケアマネと寄り添いながら客観的にサービスを見直す。社外からみても明るい雰囲気が出るような企画をし、利用者にサービスを提供する。スタッフは学びながら成長していく。

<施設案内>

開設日 : 平成 25 年 6 月

営業時間 : 9 : 30 ~ 12 : 40

“元気な方の予防型サロン”として入浴設備はありません。

<利用状況について> *別紙①

登録 人数 : 10 名 (女性 10 名)

要介護認定 : 5 名

要支援認定 : 5 名

平均介護度 : 要介護者 1.6 要支援者 1.2

<毎月の取り組み>

午前中は手先を動かし認知症予防に取り組んでいます。

手芸のカタログからご自分の作成したいものを選び、作成しています。

スタッフは作図表の説明や細かい作業の手助けをしています。

昼食を皆で作ったり (月に 3 回) おやつを作ったり (週に 2 ~ 3 回) しています。

<年間行事> (平成 28 年 4 月 ~ 平成 29 年 3 月 31 日時点まで)

2 月 まめまき (*) 3 月 避難訓練 (*) 4 月 お花見

7 月 バザー 10 月 運動会 (*) 11 月 西陵まつり出展

12 月 クリスマス会 (*) (*) 弊社保育所メゾクローバーとの合同行事

<ヒヤリ、事故件数> (平成28年4月～平成29年3月31日時点まで)

*別紙②

ヒヤリ: 2件 事故: 0件

<介護予防としての取り組み>

本来のデイサービスの概念にとらわれず、介護支援を受けているという感覚ではなく、

サロンや喫茶店にでかけるような感覚で介護予防につなげたいと考えています。

「誰かのために」をテーマに、作品を作りプレゼントをして喜んでもらった体験を積ん

でいくことで自分もまだまだやれるという自信を取り戻していただくこと、弊社学童のこども達におやつを作って提供し交流を持ったり、弊社保育所のこどもたちとの合同行事を通じて子どもたちの成長を見守る喜びを持つなど異年齢との交流による刺激を得て元気でいたいという気持ちをもっていただくこと、単にデイに行くという外出の目的だけでなく、おしゃれをして出かけようなど気持ちが明るくはなやいでいくことで心身ともに健康な状態をキープできるように取り組んでいます。

<大切にしていること>

企業理念、方針に基づき、利用者様の隣に笑顔で座り、ゆっくりお話を聞き、ニーズに応えていくこと。

介護施設の雰囲気や内容を全面的に出さずに内容は介護予防を行うこと。

家族のようなゆっくりとした時間を一緒に過ごし、一緒に楽しむこと。

厨房で手作りの温かい食事の提供。

ご家族様との連絡、関係作り(送迎を介護担当のスタッフで行う)

カンファレンス、研修、避難訓練を月に一度は必ず行う。(必要に応じて適宜)

*別紙③

<地域に向けての取り組み>

・7月のバザーは、商店街内の雑貨店のイベントに日程をあわせ、内覧会をかねて普段の作品をみていただけるように展示し、作成していたお饅頭を見学に来た方と一緒に食べ、

地域の方との交流の機会となりました。

・11月の西陵まつりでは1ブースをお借りして、取り組んできた作品を出展しました。

「前を通っても何をしているところなのかわからなかった」とのお声が多く、説

明をする機会をいただきました。

その後、顔見知りになって前を通る時に声をかけてくださったり、ふらりと中をのぞいてくださる方もいらっしゃるようになってきています。

- ・平成27年4月には創業5周年を記念してクローバーまつりを開催しました。

今後も地域の方にもご参加いただき楽しんでいただける取り組みを企画して参ります。

<スタッフ配置について>

- ・管理者・相談員、看護師、介護スタッフ、厨房スタッフを配置。

うさぎとクローバー 運営推進会議 別紙

①定員 10名

29年4月現在	月曜日	4名
	火曜日	3名
	水曜日	3名
	木曜日	0名
	金曜日	3名

定休日 土曜日、日曜日 12月29日～1月3日

②ヒヤリについて

- ・昼食時に提供したマヨネーズが賞味期限切れだった。
⇒提供前の確認が必要。曜日を決めて在庫の日付けの確認を行う。
- ・作品作り中にはさみで爪を切ろうとしていた。
⇒スタッフが気づき、制止した。
爪切りを実施。

③平成28年4月より平成29年3月まで

毎月1回実施。

スタッフのみの確認、訓練

10回

利用者との共同

2回（うち保育所合同1回）